



静岡県地方版
第359号
2021-11-15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒427-0034
静岡県島田市伊太
1301-18早崎方
TEL・FAX
0547(36)4014

私たちの
運動の基本

引き続き野党共闘の前進をめざして

県本部理事 佐野 正明

衆議院選挙が終わった。国民の生活を無視した自民党・公明党政権から政権を奪い取り、野党4党は野党共闘による政権獲得を目指し、全国で野党統一候補を立て闘ったが、結果は野党共闘をめざした立憲民主党や共産党などが議席数を減らし、自民党・公明党が政権を維持、自公補完勢力であり憲法改正をめざす維新の会が議席を大幅に伸ばした。表面的な数字だけを見れば野党共闘が失敗した、機能を果たさなかったように見えるが、各地の小選挙区における野党共闘の闘いは自民党・公明党に大きな脅威を与えた。県内の自民党候補の街頭演説にも野党共闘の分断を図るようなものがかかりあつたと聞く。市民と野党の共闘は全国各地で積極的に行われ、県内でも多くの小選挙区で推進された。残念ながら、準備不足や共闘の協議が充分行われなかったことなどにより、機能が十分に果たされなかった選挙区も多くあつた

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法体制の復活に反対する

一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること

一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

ようだ。それでも全国の小選挙区では野党共闘が威力を発揮、多くの選挙区で勝利を収め、負けた選挙区でも接戦の闘いとなっている。野党共闘は十分とはいえないまでも力を発揮したのであり、取り組みの課題も多いが今後の方向に確信をもたらしたともいえる。

選挙結果は、自公の議席と維新の会の議席を合計すれば衆議院議席の3分の2を大幅に超える議席数となり、岸田首相も「党是である憲法改正に向けて積極的に取り組む」と表明している。岸田首相は憲法改正問題だけでなく、軍拡推進・気候危機・ジェンダー問題など安倍・菅政治を継承するものであり、これまでの国民の声を聞かない政治を引き継ぐものである。治安維持法賠償同盟が半世紀の間毎年取り組んできた国会請願内容の「法制化」を実現させる為にも、野党共闘の前進、野党政権の成立は必要である。来年には参議院選挙が闘われる。自公政権に「ノー」を突きつける為にも、今回の野党共闘の効果や課題をよく検討して、野党共闘の前進が求められている。

(富士宮市・さの まさあき)

第十五回県本部理事会を開催

第38回県本部大会の議案と当面する課題についての必要な確認を行うための第15回県本部理事会が10月9日、静岡国労会館において県本部役員16人の参加のもとに開催されました。最初に江川会長が開会あいさつ。今回の総選挙の結果もふまえながら、野党共闘のたたかいは今回が始まり。「これからだ」との感想が寄せられているが私も同感。「来年の参院選挙で市民と野党の共闘を本気で頑張ろう。そのためにも国賠同盟の会員拡大と国会請願の署名活動に一層努力しよう」と訴えました。

続いて山田副会長が情勢報告、早崎事務局長が県本部大会の議案と当面の課題について報告しました。

総選挙結果を中心とした情勢報告では、選挙結果にみられる特徴として、①この選挙での野党共闘は、共通政策、政権協力の合意という歴史的大義を掲げてたたかったものであり、一定の効果をあげたこと、②具体的には、全国62の選挙区で一本化した野党候補が競り勝ち、何人もの自民党の重鎮、有力候補を落選させたことにも示されていること、③議席だけでなく、得票数で見ると、立憲・共産の比例得票の合計は、前回（17年衆院選）より169万余票、共通政策で合意したれいわと社民も加えると246万余票も増えており、野党共闘の効果はここでも示されていることを述べました。

また、選挙の結果、自公に改憲を掲げる維新を加える国会議席の3分の2を上回っており、改憲の危険性が高まっています。

いる。自民党が総選挙公約で、自衛隊明記の9条改憲を含む「改憲4項目」の早期実現を掲げているも

とでは、来年の参院選で改憲勢力3分の2を阻止することはもちろん、「ねじれ状態」を起こさせることが大事になることを訴えました。

経済・財政政策の面では、大企業や富裕層への分配ではなく、中小企業や働く人への分配こそが必要になっていきます。消費税をめぐっても、社会保障に充てると言いつつ、実際には大企業の法人税の減税や富裕層の所得税減税の穴埋めに使われてきたのが実態です。また、全額国費の補助金で医療機関を統廃合し病床削減へ誘導する「病床機能再編支援」をすすめていることは、コロナ下でも「医療費抑制ありき」の自公政権の姿勢をむき出しにしたものであると指摘しました。

国際情勢の点では、イギリスで開催されているCOP26で脱石炭火力に向けた動きが加速するもとで日本政府が、世界の環境NGO団体からの「化石賞」（地球温暖化対策に後ろ向きに贈られる）を再び受賞するという問題などが述べられました。

第38回県本部大会への議案などを確認

11月27日に開催する県本部大会への提案内容などを改めて確認しました。

私と国賠同盟

伊豆支部 寺田美智子

神国日本の聖戦は不敗と、疑うことなく学んできた軍国少女だった一九四五年八月十五日の敗戦。それまで学んできたこと全てが嘘、間違いであったと、心の中まで墨で塗り潰された十二歳の私の怒りと悲しみは、消えることはない。繰り返させはしないと決意して学んだ本物の歴史。戦争に反対し主権在民を主張し、過酷な弾圧「治安維持法」にくらしと命まで奪われても屈せずたたかった先覚者たちに心が震えた。敗戦により「治安維持法」は廃止されたが、犠牲者に謝罪も賠償もしない国に対して、再び戦争と暗黒政治を許さないために活動する「治安維持法国家賠償同盟」に、繰り返させはしないとの思い一筋にささやかな力を尽くしてきた。

核兵器の終わりが始まる今、歴史の真実を学び伝える同盟の役割が大きく求められる。新任の事務局長を先頭に、伊豆支部を一步前に進めたい。

(三島市・てらだ みちこ)

500人会員実現へ引きつづき努力

会員拡大のとりくみでは、選挙戦の最中でも中断させまいと努力するも10月も一名の入会者を迎え毎月前進を継続。コロナ禍のもとでも諦めなければ前進できる可能性が示されました。

中部支部が分割して2つの新支部を確立

200名の目標を突破し208名に到達している中部支部は、次の日程で新支部を結成します。

◆志太榛原支部（仮称）結成大会

- 日時：11月20日（土）午後1時半～3時
- 会場：島田市・六合公民館第一会議室
(島田市道悦5丁目13-3)

◆該当地域：(焼津市、藤枝市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町)

◆中東遠支部（仮称）結成大会

- 日時：11月21日（日）午後2時～3時半
- 会場：磐田市総合健康福祉会館1プラザ研修室
(磐田市国府台57-7)

◆該当地域：(磐田市、袋井市、掛川市、菊川市、御前崎市、森町)

会員拡大と国会請願署名到達

2021・11・9現在

支部名	会員拡大					国会請願署名							
	目標	9月到達	増減	現在到達	うち夫婦会員	団体目標	9月到達	増分	現在到達	個人目標	9月到達	増分	現在到達
伊豆	30	22		22	6	50	0	+5	5	350	0	+20	20
沼駿	60	53		53	12	60	0		0	800	0		0
岳南	30	20		20	6	40	0	+2	2	350	0		0
清水	50	36		36	12	60	0	+12	12	1,100	0	+73	73
静岡	50	36		36	2	80	2	+1	3	500	10	+5	15
中部	200	207	+1	208	42	100	6	+3	9	800	65	+58	123
西部	80	62		62	2	80	1	+1	2	750	35	+5	40
県本部	-	-		-		30	1		1	350	0		0
合計	500	436	+1	437	82	500	10	+24	34	5,000	110	+161	271

しずおか同盟文芸

※※ 短歌 ※※

診療所 開設の日々を 照らし来た
 ともしび偲ぶ 田町半世紀

創立から 夜間診療の 田町の燈火
 医療の歴史 永久に輝く
 (田町診療所 五十年史の灯)

一年に 800万の生命生まる
 平和を祈り 原点に立つ

故郷のくらし 守り来し人々の
 想いまたたく 深秋(あき)の夜の星

静岡 松浦美智世

編集後記

▼総選挙の結果は、期待していたようなものにならなかったため
 がっかり感がありました。が、よくよく考えれば野党共闘のとり
 くみも「まだ始まったばかり」。それでも多くの効果が明白に。
 ▼来年は参院選。マスコミなどの「野党共闘は失敗」を乗り越
 え、「政権を変えるには共闘しかない」の思いを一層強くしな
 がら、自信をもって前進をはかっていきたいものです。S・H

